

「ゴム製のボールと野球」

野球は皮ボールでやるのが普通だが、日本では皮ボールの外にゴム製の軟式野球ボールと準硬式野球ボールがあり、3種類の野球が行われている。今回の残光記ではゴム製の野球ボールについて記すことにする。

軟式野球というか軟球は日本で子供用に発明されたボールで、当然軟式野球も日本発祥です。日本以外のベースボールが普及している国では子供の内から硬球を使うのが普通で、硬球は軟球と違って消耗品としての比重が高いため、MLBのファールボールプレゼントは実用的な面からも喜ばれます。

アメリカに軟式野球は無いかというところでもないのですが、基本的には少年野球でも硬式です。ベネズエラやキューバ、韓国、台湾、中国等でも基本的には小学生から硬式野球です。日本でもボーイズリーグでは硬球を使い、世界大会も硬式が基本です。ただし、東洋では軟式もそこそこ普及していて軟式のアジア大会とかもあります。国際交流試合で軟式の日本の少年野球チームがアメリカなどに遠征した際は日本戦のみ軟球使用だったので対戦国の子供たちは驚いたといえます。

スタートは各国いろいろです。ソフトボール、硬式（Tボール）、軟式。ソフトボールはアメリカで野球の練習用に開発され、その後日本に大正10年に入り、主に学校体育の一貫として女子にでも出来るボールとして徐々に普及しました。

明治初期に入って来た硬式野球は高価、危険のため一般用に大正10年、まさにソフトボールが入ってきたと同じ時期に軟式ボールの国産品が開発されました。軟式は日本でも戦後急激に普及し、その後、日本から安全な野球として本家アメリカ、台湾、フィリピン、韓国、メキシコなどに普及しました。

今年は学童の軟式野球の第20回世界選手権が開催されました。本家日本は20回の内、一度も優勝していません。12各国が参加しており、強いのは台湾、中国、アメリカ、メキシコなどです。

中学生も世界選手権があります。野球が普及している国では主にソフト、軟式などからスタートしますがアメリカではバッターボックスの前にT型のスタンドを立てその上のボールを打つ硬式の野球が盛んです。（投手の肘保護や安全のため）現在は日本でもTボール大会があり、世界選手権もあります。子供（学童）の野球を区分すればリトル（硬式）、Tボール（硬式）軟式、ソフトボールになるでしょうか。